




收受年月日	議長	事務局長	書記
29.3.3			
第152号			

平成 29 年 3 月 3 日

埧町議会議長 大縄武夫 様

経済常任委員会委員長 鈴木安次



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埧町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

記

1 調査事件 線量低減化活動支援事業

2 調査の経過

本委員会は、町が線量低減化活動支援事業で実施した埋設除去土壌搬出の状況について、担当課からの聞き取り調査のほか現地調査を行った。

- (1) 調査日 平成 29 年 2 月 17 日 14:00～15:30
- (2) 出席委員 鈴木安次、小峰由久、小林達信、吉田克則、高縁 光、青砥與藏、大縄武夫
- (3) 説明員 生活環境課長、生活環境課長補佐
- (4) 職務出席者 議会事務局長
- (5) 場 所 現地及び委員会室

3 調査の結果

(1) 結果




各学校に保管してある汚染土壌が、何の説明もなく埧町上石井地内埧浄化センター敷地内に運び込まれたと上石井区長から町に申し入れがあったことから、予算執行状況を把握する為に所管事務調査をした。

本事業は、各学校等に保管している汚染土壌を中間貯蔵施設に搬出するまでの期間仮置きするため、汚染土壌の掘り起し、運搬を主たる内容として行ったもの。仮置き場所は、町有地で人家から遠く苦情等が出にくい、国道に近く搬入搬出が容易、周囲がフェンスで囲まれ関係者以外入れないので管理

しやすい、などの理由で上石井区内の埴浄化センター敷地内に選定したようであるが、汚染レベルが低いとの判断で地区住民に説明を省いたことは行政にとってあってはならないことである。行政にとって説明責任は一番大切な事である。地区住民に不安を持たせないようにこれからも十分な説明をしていかなければならない。今後、二度とこの様な事が起きないことを願う。

(2) 委員報告書

別紙のとおり

收受年月日	委員長	事務局長	書記
29.3.1			
第 号			

様式 1

調査研修等報告書

平成 2 9 年 3 月 1 日

大繩武雄議会議長


様

提出者鈴木安次

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	平成 2 9 年 2 月 1 7 日	派遣先 (場所)	埴町上石井下水処理場、委員会室
内容	汚染土壌仮置きについて		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>上石井地区から各学校に保管してある汚染土壌が何の説明もなく埴町上石井下水処理場に運び込まれたと上石井区長から町に申し入れがあったことから、状況を把握する為に所管事務調査をした。</p> <p>各学校に保管している汚染土壌を搬出するまでの期間仮置きすることで町有地を検討したが、人家からも遠く、周囲もフェンスで覆われていて、国道にも近いとの理由で選定されたようであるが、汚染レベルが低いとの判断で地区住民に説明を省いたことは行政にとってあってはならないことである。行政にとって説明責任が一番大切な事である。地区住民の不安を持たせないようにこれからも十分な説明をして行かなければならない。今後二度とこの様な事が起きないことを願う。</p>		

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

收受年月日	委員長	事務局長	書記
平成 29 年 2 月 28 日	様		
議会議員 委員会委員長 第 号			

平成 29 年 2 月 28 日

提出者 大縄 武夫




派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会除染土の保管状況現地調査		
派遣の 日時	平成 29 年 2 月 17 日	派遣先 (場所)	町内
内容	線量低減化活動事業		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>現地を調査して、線量が低いとはいえ現物を見れば、だれもが心配になるのは当然である。地元住民にたいして丁寧な説明と理解が必要である。お詫びして頂きたい。</p>		

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

平成 29 年 2 月 28 日




議会議長
委員会委員長

收受年月日	委員長	事務局長	書記
29.2.28			
第 号	提出者 高 緑 光		

派遣目的 (調査等 名称)	放射能線量低減化支援事業、中間貯蔵埋設 除去土壤搬入前の土壤置場の確認に付		
派遣の 日時	平成29年2月17日午後 2時	派遣先 (場所)	上石井浄化センター
内容	増小学校常豊小学校 校庭30cmの土壤大型袋に 詰めたるもの(729袋)		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	行政としては放射能染量が低いと思いつても 住民としては原発事故前のことを考えていると 思われる 自然に戻るまでには心配される と思われる とくに子供若くは放射能 影響が大きくなるためであり置場所の 近くの住民には話し合を持って置くべき であった		



議員派遣
委員派遣
調査研修等報告書

議会議員
委員会委員

收受年月日	委員長	事務局長	書記
29.2.22 様			
第 号	提出者 小峰由久		


平成 29 年 2 月 22 日

派遣目的 (調査等 名称)	* 除染土の保管状況調査		
派遣の 日時	H/29.2.17	派遣先 (場所)	上石 ^正 排水処理場
内容			
派遣 結果 (意見 及び 感想)	保管土の線量は平場と変わりなく 中向土場への持ち出しが28日より開始 されると説明を受けた。 事前説明を行って居れば「問題ない」 と思っただ。		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
29.2.28			
第 号			

調査・研修等報告書

氏名	吉田 克則		提出 年月日	平成 29 年 2 月 28 日
調査等 名称	経済常任委員会所管事務調査			
調査等 の日時	平成 29 年 2 月 17 日 14 : 00 ~	場 所	現地及び委員会室	
調査等 の内容	線量低減化活動事業			
意見感想	<p>上石井浄化センターの埋設除去土壌仮置き場の現地確認及び埋設除去土壌搬出に関する経過を町民課長から説明を受けた。</p> <p>仮置き場への埋設土壌は埴学校ほかでフレコン数 7 2 9 袋。上石井地区へは事前説明もなく埋設除去土壌を搬入したことは問題と思われる。上石井地区の皆さんに丁寧なお詫びと説明で、理解を頂けるよう早急に行うべき。</p>			

收受年月日	委員長	事務局長	書記
29.3.3			
第 号			

調査・研修等報告書

氏名	小林達信		提出年 月日	平成29年2月22日
調査等 名称	線量低減化施設整備支援事業			
調査等 の日時	平成29年2月7日	場所	上研現地実験室	
調査等 の内容	埋設除去土壌搬出に関する経過			
意見 感想	上研深心センター敷地に仮置きすることの合理性は納得するが、住民に何も説明をしないのは非常に不手際だった			